



NPO法人 西東京臨床糖尿病研究会

MANO a MANO

～「mano a mano」とはスペイン語で「手から手へ」という意味です～

会員数 690人

医師 154人

コメディカル 536人

管理栄養士派遣登録数 39人

《目次》

～患者さんから学ばせて頂いています。～

松尾 美穂先生……………Page 1

研究会等の実施報告……………Page 2・3

研究会他のお知らせ……………Page 4

～患者さんから学ばせて頂いています。～

当研究会評議員 東京医科大学八王子医療センター 看護師 松尾 美穂

今年私は、2つの資格更新審査があります。1つは、日本看護協会の糖尿病看護認定看護師、そして2つめは、日本糖尿病療養指導士です。2つの更新準備は自分の活動を振り返ると共に、そこで出会った多くの患者さんとの場面を思い出す機会となりました。今回は、2名の患者様のことを紹介したいと思います。

1人目の方は、今から5年前に外来で出会った患者様です。腹部膨満感が強く消化器内科を受診した所、血糖値が高いと指摘され内分泌内科を受診されました。腹部の膨満は、神経因性膀胱による排尿障害であり、泌尿器科を受診した1300mlの残尿があり尿道バルーンを留置することになりました。内分泌でも血糖は非常に高い状況でインスリン導入と入院を医師より勧められましたが、経営コンサルタントという職業から、仕事は休めない、インスリンは覚えるから外来で導入して欲しいとの希望が患者様よりありました。センター来院してからすでに5時間が経過しており患者様は尿道バルーンを留置されさらに今からインスリン注射と自己血糖の指導という中、かなり疲労していらっしやいました。私は、少し休んで頂こうと30分後に指導の約束をしました。患者様は2つの手技についてはすぐに修得されました。

「問題は、インスリンをどこで打つかと・・・接待で週に3回いっている料亭の時どうするかだな」と言って帰宅されました。3日後血糖とインスリン手技確認のためにお会いすると「糖尿病って言ったら会社にもいて、その人と料亭の食事は半分にすることにしたんだよ。もうお店にも話して・・・インスリンも皆に見せてるよ」と患者様の決断力と行動力に驚かされました。その後仕事の都合をつけ「1週間仕事を休めるから入院してしっかり糖尿病を勉強したい」と言われ入院し、良好なコントロールを得ることができました。2年前その方は、消化器の癌で亡くなりお話しした時の言葉が忘れられません。「糖尿病は自分でもなんとかしようと思えばコントロールできる病気だよ。でも今回ばかりは自分ではなんともしようがない」もう1人の方は、昨年初診で外来受診し1型糖尿病だろうと医師より説明を受けた際に外来で大泣きされた女性です。「なんで自分だけが・・・」という思いが今では、カーボカウンティングを取り入れ、インスリン調整を自己で行い試行錯誤しながらも現在は、自分でコントロールしている。という自信を得て生活しており、ネットで知り合った1型と診断されたばかりの方の相談にのっています。2人の方に共通することは、状況を受け入れられる精神力とどうすればいいかという決断力 患者様への様々な指導や相談を通して多くの事を学ばせて頂いているな。と改めて思いました。

研修会等の実施報告

NPO法人 西東京臨床糖尿病研究会 総会

2007年6月2日(土)13:10より多摩永山情報教育センターにて、NPO法人西東京臨床糖尿病研究会 総会を開催いたしました。

【議題】第1号議案 平成18年度事業報告、第2号議案 平成19年度事業計画案
第3号議案 平成18年度決算報告、第4号議案 平成19年予算案

貴田岡理事長が総会員数680名中233名の出席(表決委任者189名を含む)により定款第30条に定める定足数三分の一を満たすため、総会を開会の宣言し、審議に入る前に認定NPO法人の申請について説明いたしました。



互選により宮川高一副理事長を議長に選出し、18年度に実施した事業および収支決算について、貴田岡理事長が説明を行った後、その内容について審議を行い、いずれも全会一致で原案のとおり承認されました。続いて、19年度の事業計画案について、貴田岡理事長より説明を行い、収支予算案について貴田岡理事長が説明を行った後、その内容について審議を行い、いずれも全会一致で原案のとおり承認されました。予定した審議をすべて終了し、定期総会を閉会しました。

会員の皆様のご尽力により、18年度を無事に終えることができました。19年度はさらなる飛躍の年として、会員の皆様には引き続きご協力をお願いいたします。

※18年度の決算報告については、同封の報告書をご覧ください。

NPO法人 西東京臨床糖尿病研究会 第41回 例会を終えて

平成19年6月2日(土)「多摩永山情報教育センター」において実施されました

例会担当世話人 調布東山病院 院長 戸塚康男

6月2日は幸い好天に恵まれました。今回会場として選ばれた多摩永山情報教育センターは、永山の駅から少し離れた緑に囲まれた一角にあり、林の中の登り道では軽く汗をかきました。第一部の富山大学附属病院長の小林正先生のご講演では、全体のテーマである「21世紀の糖尿病管理」にふさわしいグローバルな視点での糖尿病に関するお話で始まり、「糖尿病・メタボリックシンドロームと実地医家の役割」に関して多くのことを学ぶことが出来ました。

第二部のシンポジウム「糖尿病・メタボリックシンドロームと平成20年度特定健診・保健指導」では、今年の3月末まで多摩府中保健所で糖尿病医療連携の推進に力を尽くされていた藤川眞理子先生から、新たに始まる健診と保健指導の概要が示されました。参加された実地医家の関心も高く、パネルディスカッションは白熱した議論で盛り上がりを見せました。糖尿病や予備群を25%減らすというアウトカムが得られるような、新たな健診および保健指導が一体どのような形で実現できるのか、課題が多いことも良く分かりました。国の目指す方向がどのようなものであれ、日々多くの糖尿病の患者さんに接しているのが臨床の現場です。片山隆司先生、高村香代子先生、小池日登美先生のレクチャーは、患者指導を実施する場面ですぐに役に立つポイントが分かりやすく示されたもので、参加者にとってとても有用であったと思います。



お食事会

平成19年6月7日(木)・6月15日(金)「ギャラリーレストラン北川」において実施されました

当研究会評議員 高村内科クリニック 高村香代子

6月7日、15日の両日、国立のギャラリーレストラン北川にて、当研究会主催の第1回食事会が行われました。当日のレストランは貸切でしたので、他のお客様に気を使うこともなく、始終和やかな雰囲気気で食事を楽しむことが出来ました。また壁に飾られたシェフのお父様が描かれた多くの絵画も楽しい雰囲気に一役かっていたのではないのでしょうか。献立作成はレストランのシェフのご姉妹(当研究会会員の管理栄養士)に立てて頂き、魚、肉コースとも約580Kcal。洋食のコース料理ですが、たんぱく質、脂質、糖質とも、バランスの良いものになっておりました。

会員の医療機関にはポスターを貼って頂き、参加者を募集。当日の人数は、7日は21名(内男性1名)、15日は19名(内男性3名)。初めての食事会でしたが多数の参加があり、患者様の食事会に対する関心の高さが伺えました。アンケートの結果、参加した理由で一番多かったのは「糖尿病患者向けに考えられた外食を体験してみたかったから」。次に「食事のカロリーを気にせず外食できると思ったから」との理由が続きました。食事が終わってから、シェフより本日のメニューの説明をして頂きました。ドレッシングの作り方、肉にかけてあるソースの作り方の質問もあり、自宅と同じように作ってみたいとの声も聞かれました。レストランのシェフの話をして聞けるのもこの会の魅力のひとつでしょう。最後に管理栄養士が外食のとり方のポイントの説明を資料を用いて行い、その後患者様にアンケートを記入して頂き両日とも無事に、そして楽しく初めての食事会を終えることができました。アンケートの中にはカロリーを抑えるための工夫が参考になった、塩分は自分が食べているものと違うため参考になったなどの意見もありました。今後とも皆様の意見を参考によりよい食事会を目指し、継続していきたいと考えております。ご意見などございましたら是非お寄せ頂きますようよろしくお願いいたします。



第8回 西東京糖尿病療養指導士養成講座のお知らせ

■第8回 「西東京糖尿病療養指導士養成講座」

—開講のご案内と申込受付—

開 催：平成19年9月4日(火)第1講開講
以降12月4日(火)まで、週1回 火曜日か木曜日、計13回実施

時 間：19:00～21:00(開場18:30)

会 場：立川女性総合センター アイム1階ホール (立川駅北口徒歩7分)

受 講 料：13,000円

定 員：190名(定員に達し次第締切)

参加資格：糖尿病療養指導に1年以上携わった経験のある方(自己申告)
今年度より、LCDE認定既取得者の受講はご遠慮いただくことになりました。

テキスト：「日本糖尿病療養指導士 受験ガイドブック 2007」を使用します。

*テキストは、開講日までに各自でご用意ください。

申込受付：受付開始は8月初旬の予定です。7月中旬までに、プログラム詳細と併せて、申込方法、受付開始日をホームページ[最新情報]に掲載いたしますのでご覧下さい。



研究会他のお知らせ

・ 直接事業 ・ 間接事業

- ・ **第6回 西東京CDE研究会 総会** (※お申し込みが必要です。)

開催日 : 平成19年7月7日(土) 15:30~19:30
 場所 : 多摩永山情報教育センター(京王線・小田急線 永山駅下車徒歩5分)
 特別講演「糖尿病療養指導士における地域での活動」
 石橋クリニック 石橋 幸滋先生

※西東京糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位: 7単位
- ・ **第17回 武蔵野糖尿病研究会** (※お申し込みは不要です。)

開催日 : 平成19年7月7日(土) 16:00~17:30
 場所 : 武蔵野赤十字病院 山崎記念講堂(JR中央線 武蔵境駅下車徒歩7分)
 特別講演「高脂血症治療の新しいアプローチ ~コレステロール吸収を巡って~」
 帝京大学医学部 内科学講座 木下 誠先生

※西東京糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位: 2単位
- ・ **第17回 多摩糖尿病チーム医療研究会 薬剤師分科会** (※お申し込みは不要です。)

開催日 : 平成19年7月11日(水) 19:00~21:00
 場所 : 東京都国分寺労政会館(JR中央線 国分寺駅下車徒歩4分)
 テーマ「自己血糖測をおこなうときの注意点」
 聖ヨハネ会総合病院 桜町病院 薬剤科 池淵 剛先生 他

※西東京糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位: 2単位
- ・ **第83回 実践栄養指導勉強会** (※お申し込みは不要です。)

開催日 : 平成19年7月17日(火) 18:45~20:15
 場所 : 緑風荘病院併設グリーンボイス1Fダイニング(西武多摩湖線 八坂駅下車徒歩1分)
 講演「栄養素としての亜鉛」
 京浜会京浜病院副院長・透析センター部長
 東邦大学医学部客員講師・理学部非常勤講師 志越 顕先生

※西東京糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位: 2単位
- ・ **第4回 西東京糖尿病療養指導研修会** (※お申し込みが必要です。)

開催日 : 平成19年7月29日(日) 参加費: 5000円(昼食代込み)
 場所 : 東京農工大学小金井キャンパス(JR中央線東小金井駅下車10分)
 ※詳細については同封のチラシをご覧ください。
- ・ **第1回 西東京運動指導体験セミナー** (※お申し込みが必要です。)

開催日 : 平成19年9月29日(土)~9月30日(日) 1泊
 場所 : 高尾の森 わくわくビレッジ(JR中央線・京王線高尾駅下車バス14分)
 (東京都八王子市川町55番地)
 『わくわく運動療法体験』
 ~ここで体験しよう ノルディックウォーク~
 募集人数: 40名 参加費: 13,000円(宿泊費込み)

※日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位<2群>: 2単位申請予定
 ※健康運動指導士登録更新講習会認定申請中

NPO法人 西東京臨床糖尿病研究会 事務局

〒185-0012 国分寺市本町3-10-22 トレント'ラ' 402

TEL: 042(322)7468 FAX: 042(322)7478

http://www.nishitokyo-dm.net Email:w_tokyo_dm_net@ybb.ne.jp

